

広島県における少子化の現状と 若者の結婚に関する意識

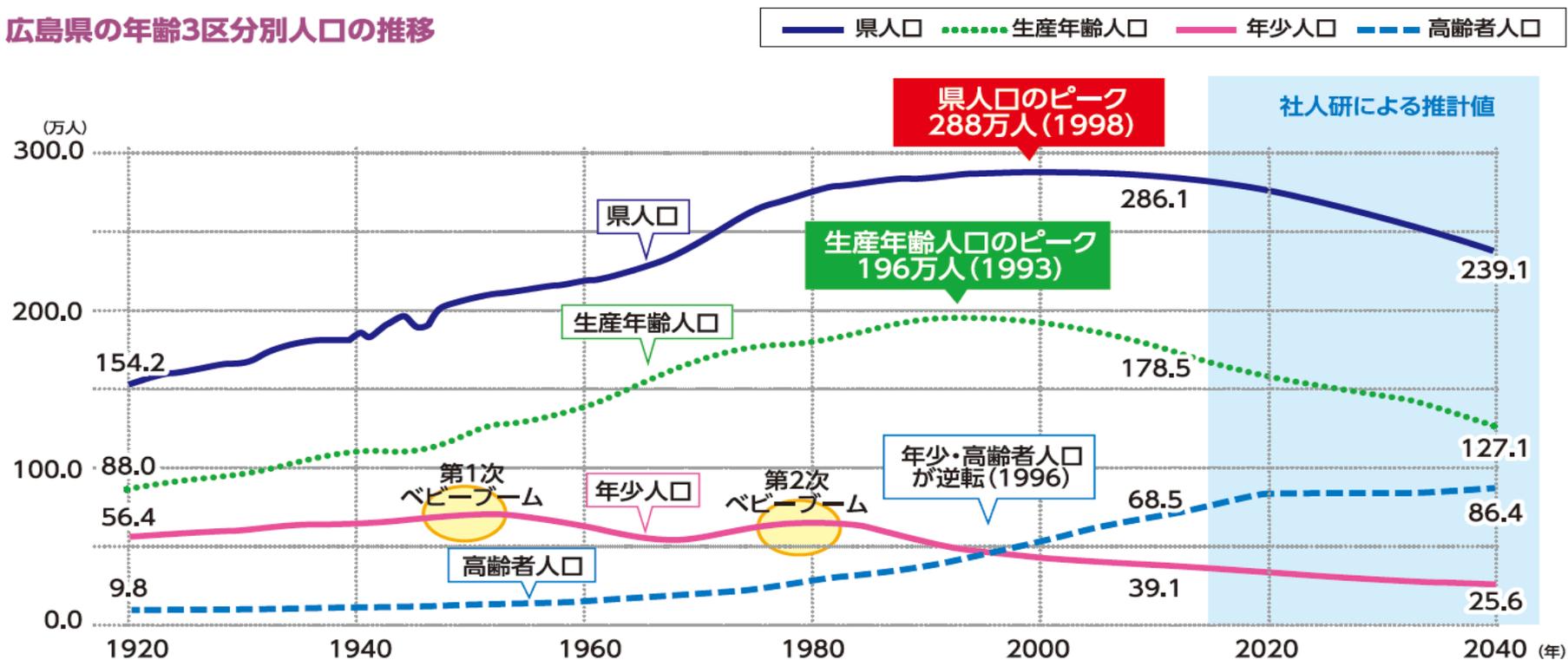


健康福祉局子育て・少子化対策課

広島県の人口推移

- 2010年から2040年にかけて、総人口は47万人、生産年齢人口は51万人減少
- 市場の縮小や働き手の減少が想定されるなど、社会全体での対策が急務

広島県の年齢3区分別人口の推移



働き手の減少

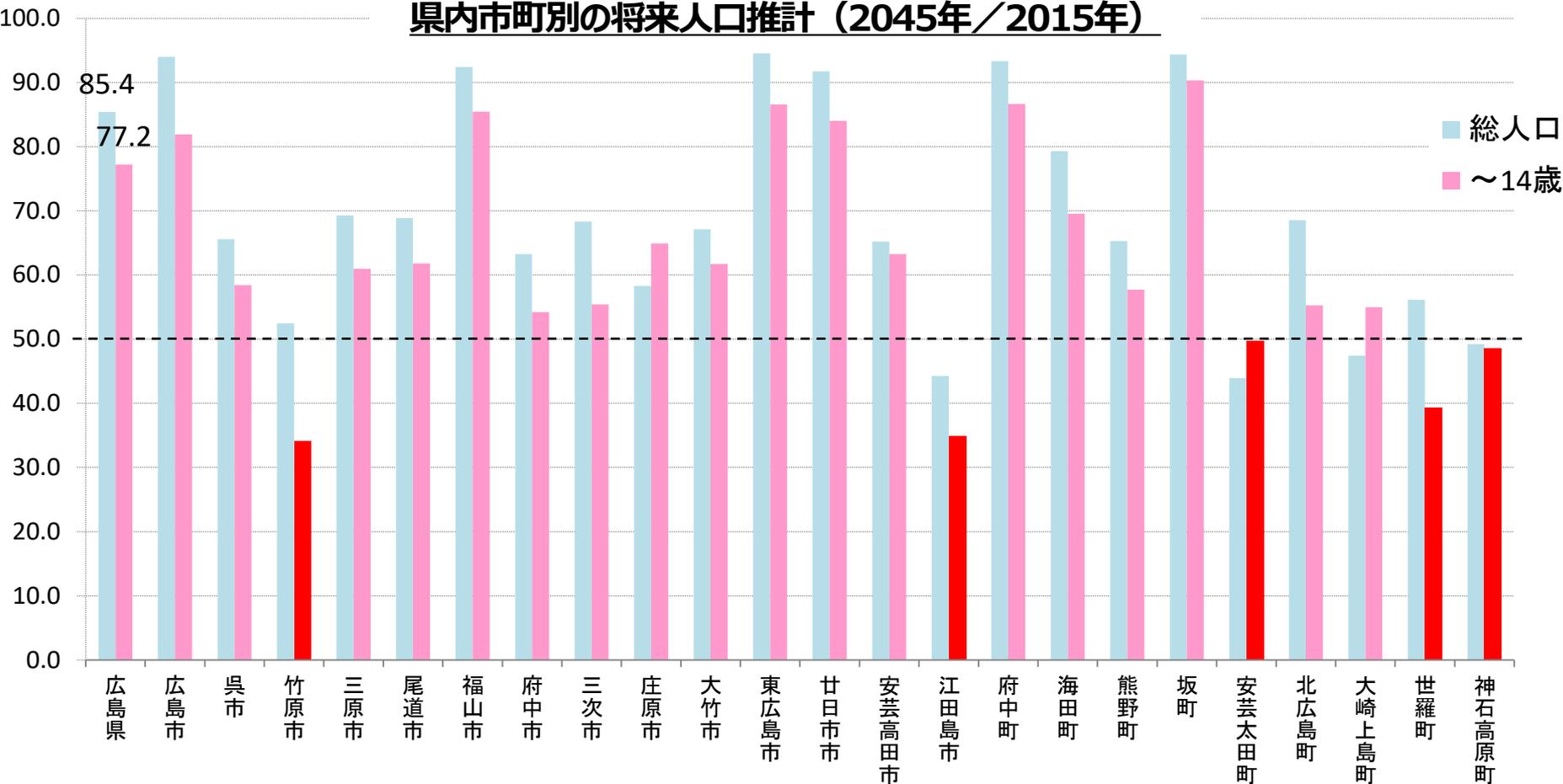
区分	2010(H22)	2040(H52)
年少人口(0~14歳)	13.7%	10.7% ▲14万人
生産年齢人口(15~64歳)	62.4%	53.2% ▲51万人
高齢者人口(65歳以上)	23.9%	36.1% +18万人

広島県の将来人口

- 各市町における将来推計人口は、基準年の2015年と比較して、現状の9割をキープする自治体もある中、半減以下となる自治体も4市町存在
- 14歳以下の年少人口は、5市町で現在の半分以下という厳しい見込み

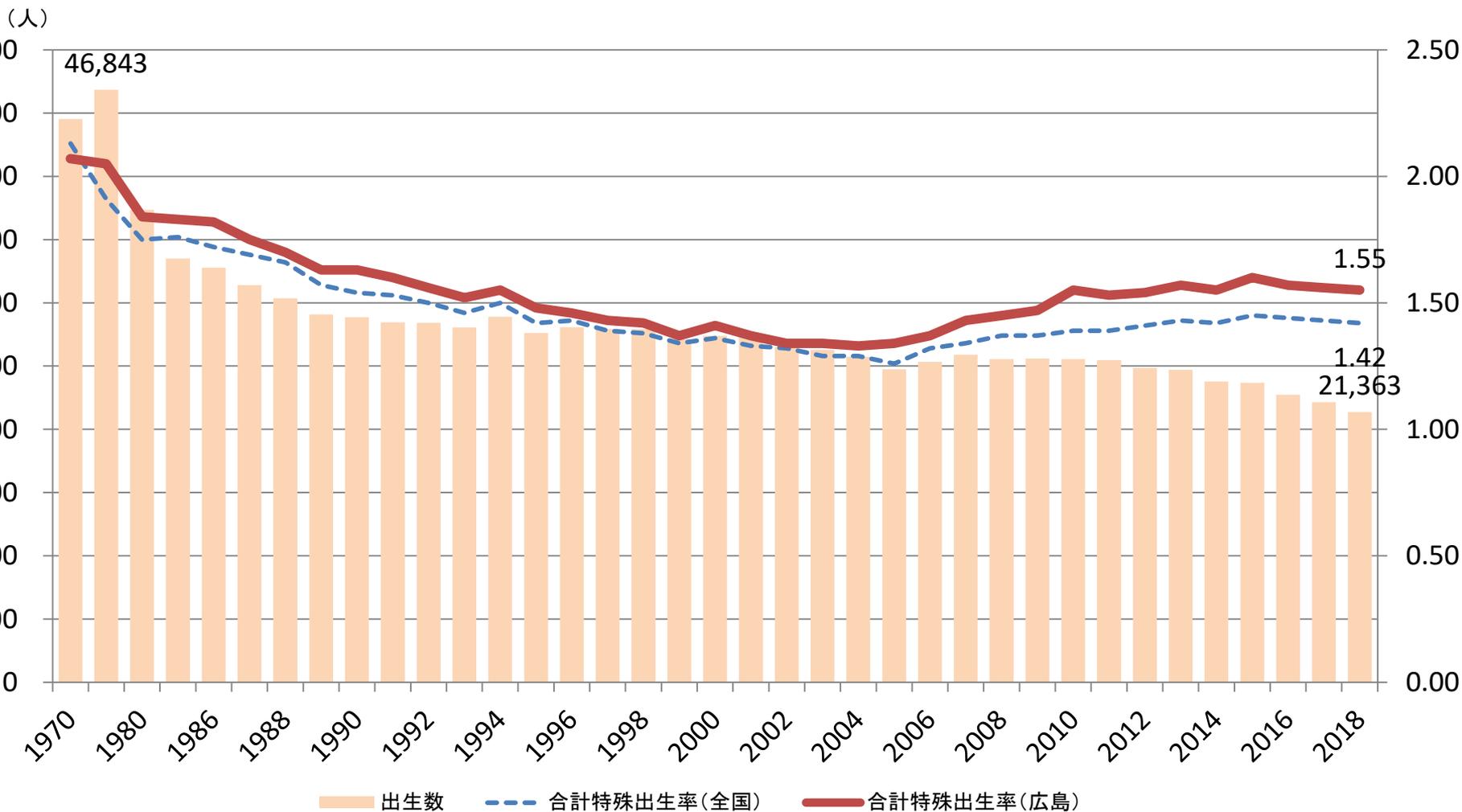
(%)

県内市町別の将来人口推計 (2045年/2015年)



年少人口の減少

- 合計特殊出生率は2005年以降回復しているものの、近年は横ばい
- 出生数は**40年前をピークに半減**し、毎年減少（2019年は2万人を下回る可能性も）

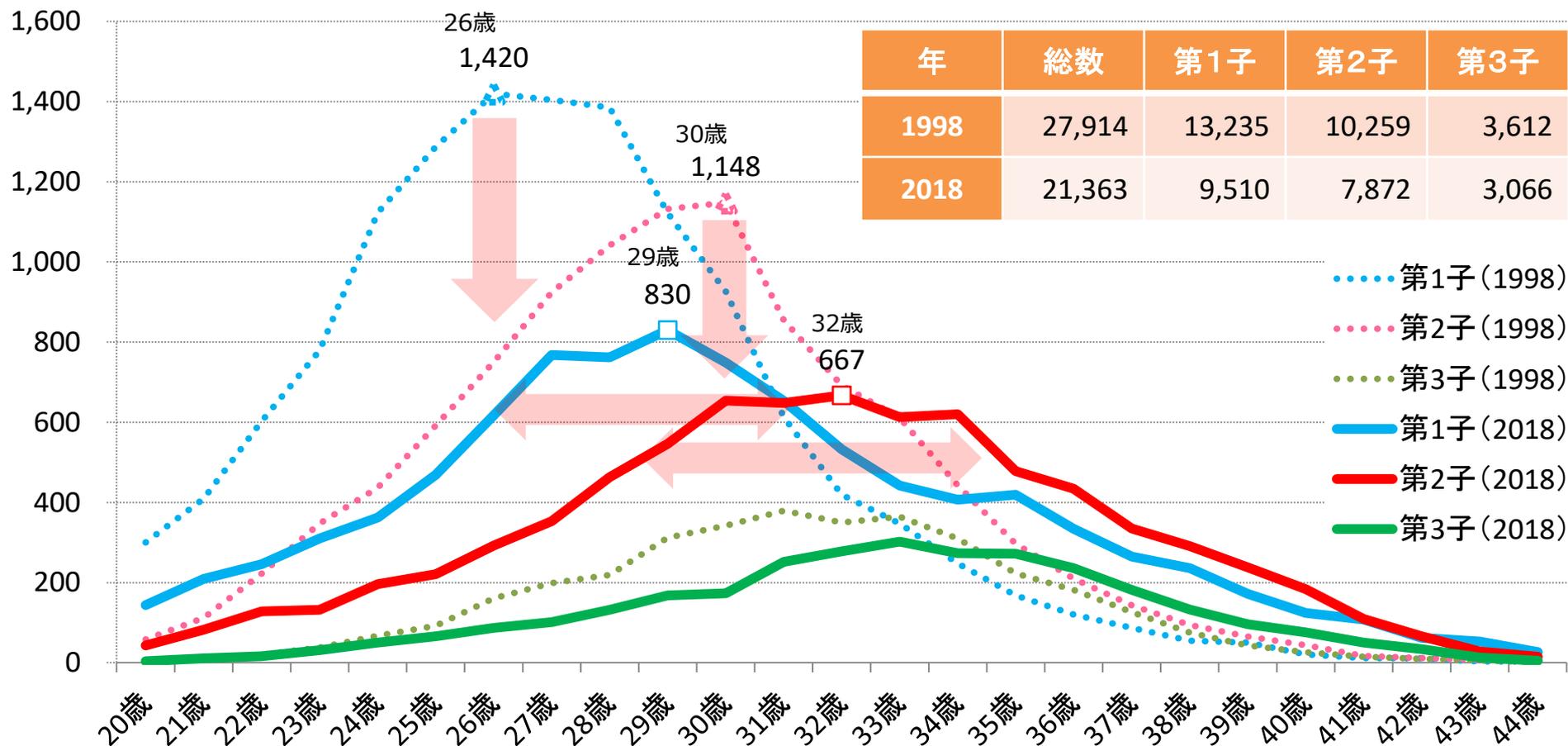


出生を取り巻く状況(直近20年の変化)

- 直近20年間の変化を見ると、出生曲線全体が下がるとともに、出生時年齢も広がっている。
- ライフスタイルの多様化や晩婚化による晩産化が背景にあると考えられる。

母年齢別出生数(1998-2018比較)

(人)

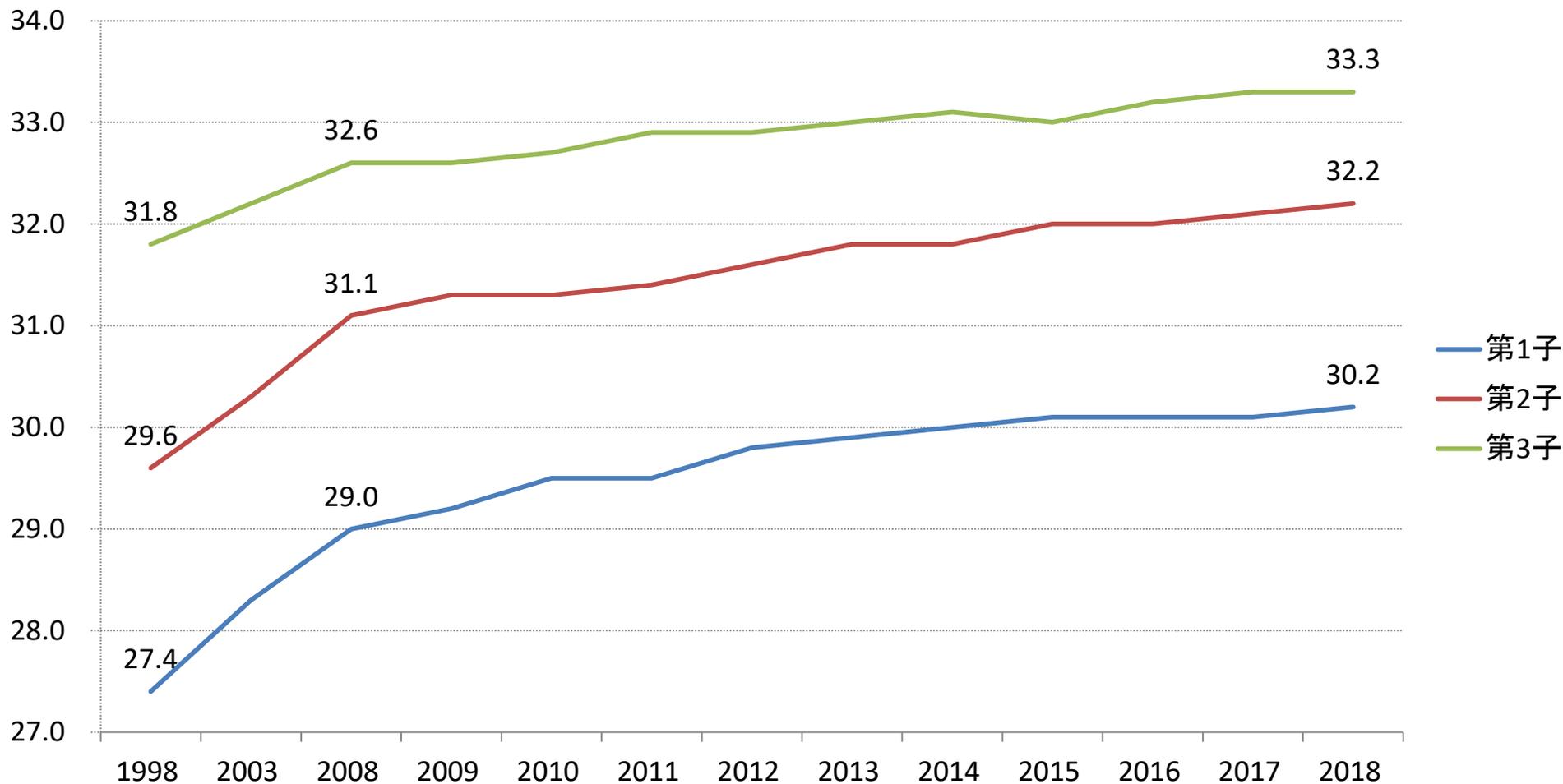


出生を取り巻く状況(直近20年の変化)

- 母親の平均出産年齢は、全体として晩産化の傾向にある中、特に第1子、第2子の高齢化が進んでいる。

出産順位別平均出産年齢(母親)の推移

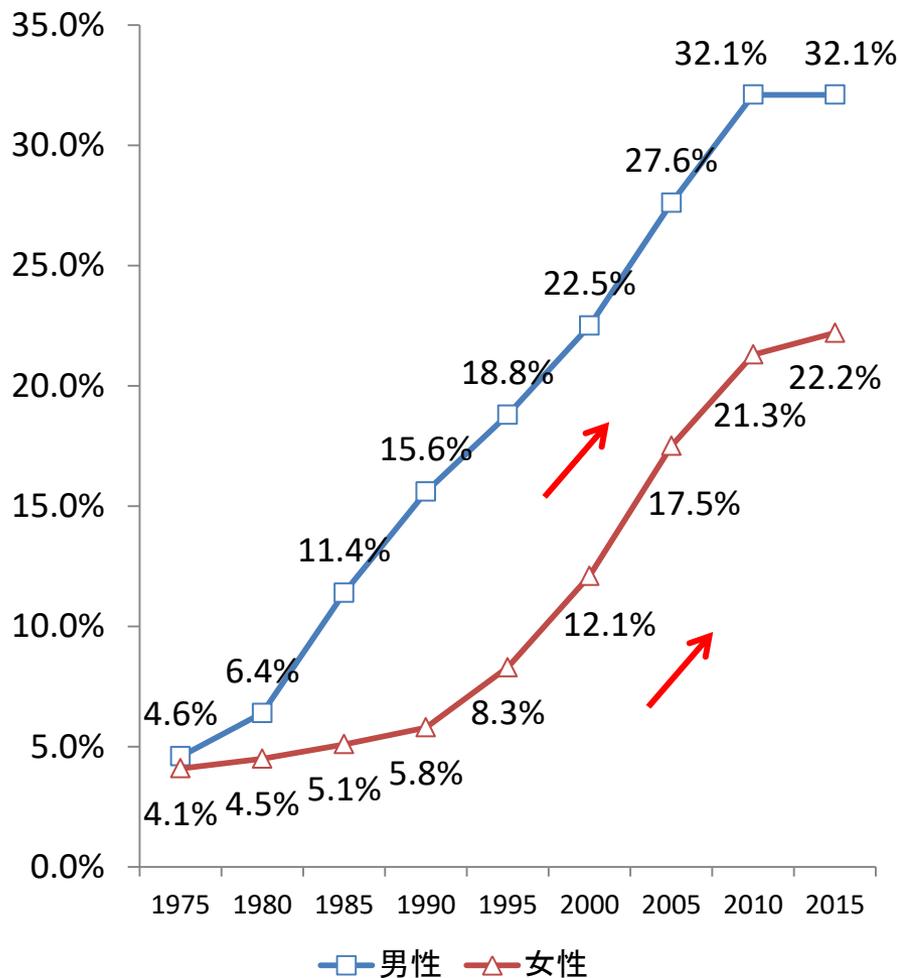
(歳)



未婚化・晩婚化の状況

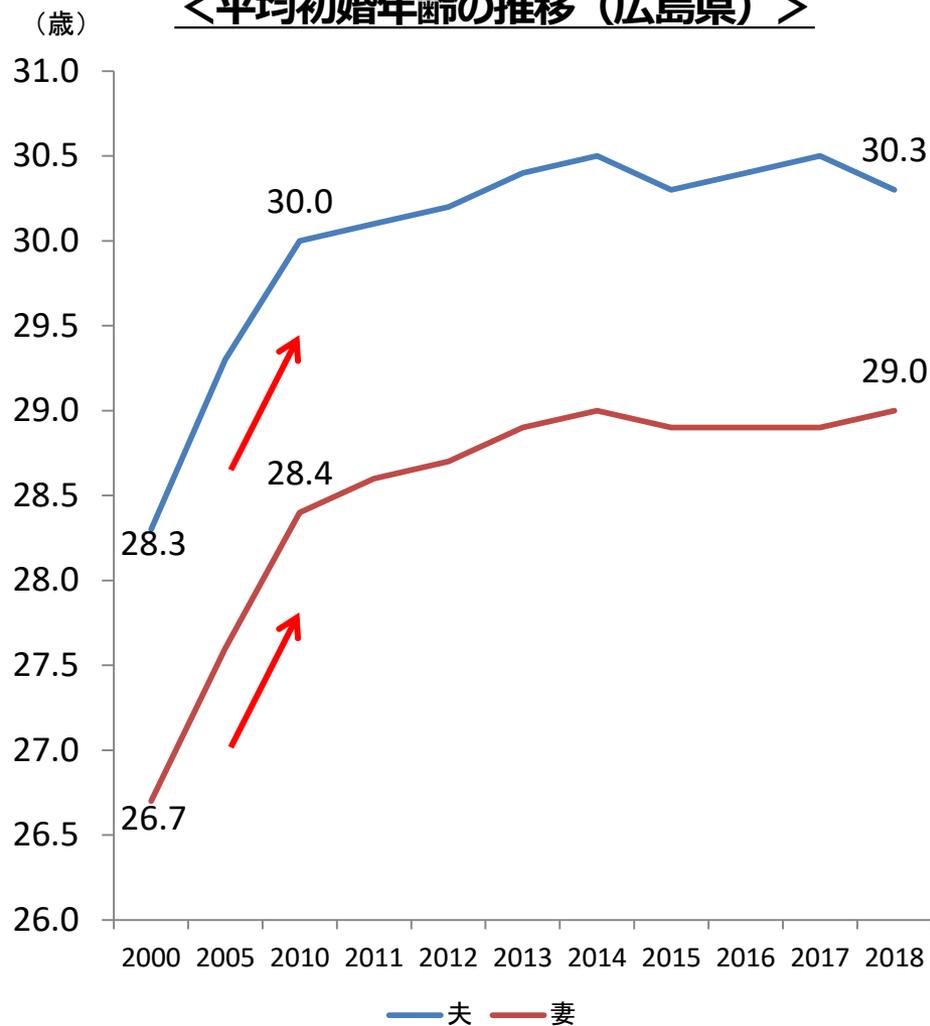
- 最新のデータでは、35歳から39歳の男性の3人に1人、女性の4人に1人が未婚
- 初婚年齢も上昇傾向にあり、晩婚化が進んでいる

＜男女（35～39歳）の未婚率（広島県）＞



国勢調査(総務省)

＜平均初婚年齢の推移（広島県）＞

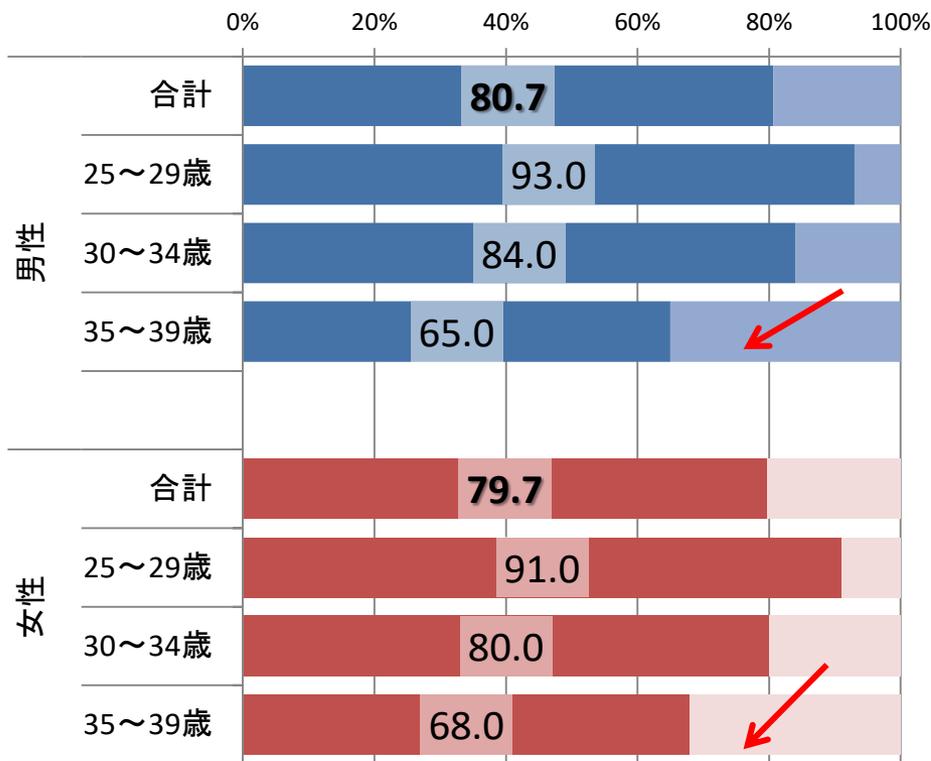


人口動態調査(厚生労働省)

独身男女へのアンケート結果＜結婚願望・交際状況＞

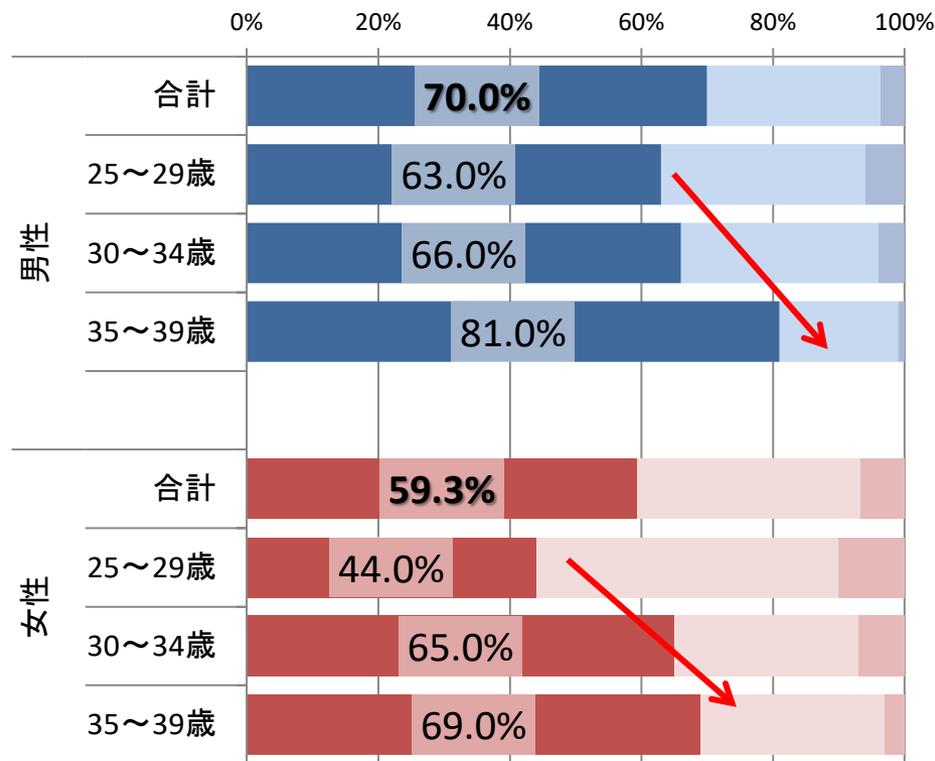
- 県では、年に1度、県内独身男女を対象にアンケート調査を実施
- ⇒ 独身男女の**約8割**が結婚したい一方で
独身男性の**約7割**，女性の**約6割**に恋人がいない

＜独身男女（25歳～39歳）の結婚願望＞



■ **いずれ結婚するつもり** ■ 一生結婚するつもりはない

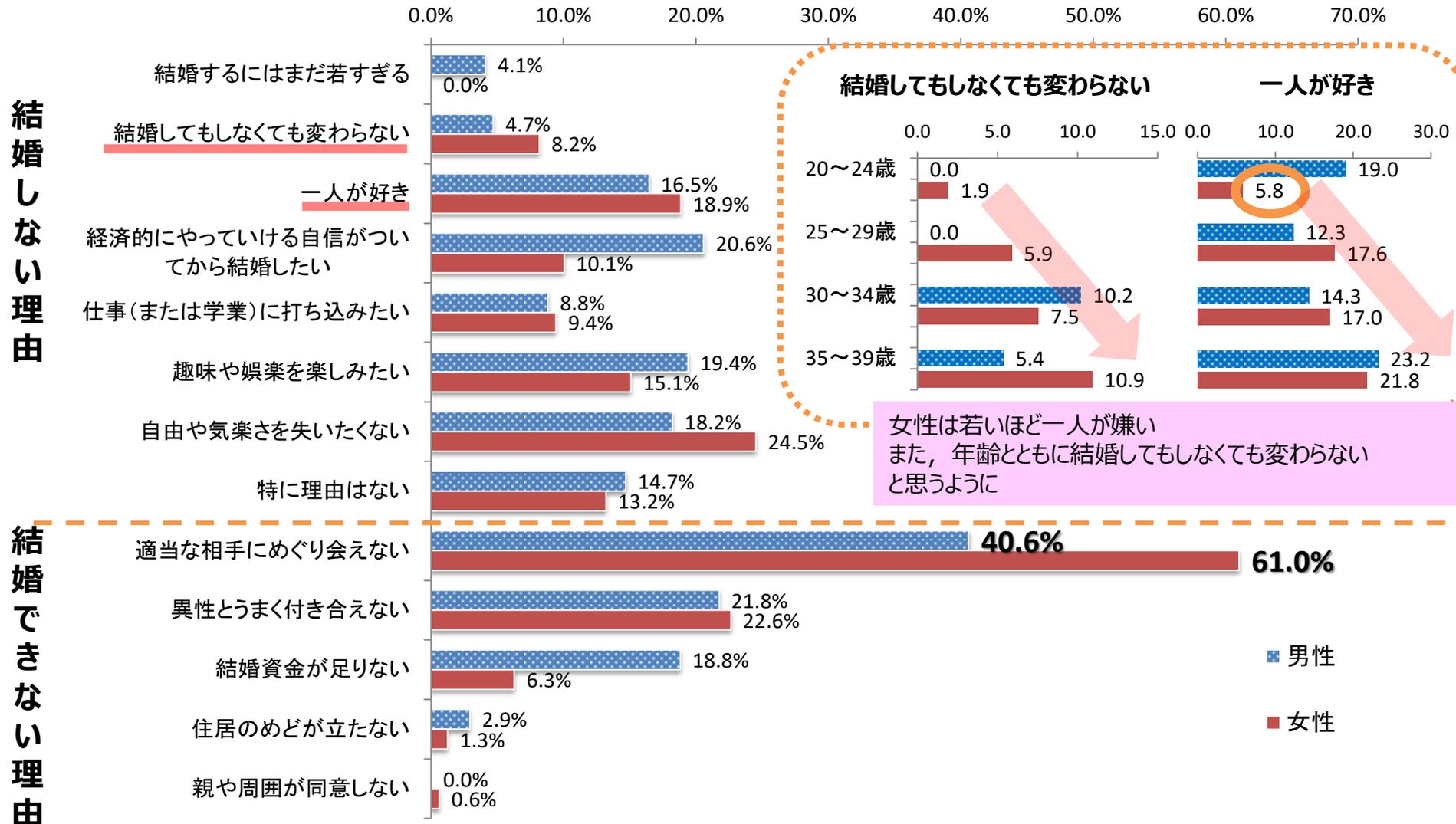
＜独身男女（25歳～39歳）の交際状況＞



■ **交際相手なし** ■ 交際相手あり ■ 婚約者あり

独身男女へのアンケート結果<独身にとどまる理由>

■ 「出会いがない」が最多，しかしながら近年は理由が多様化



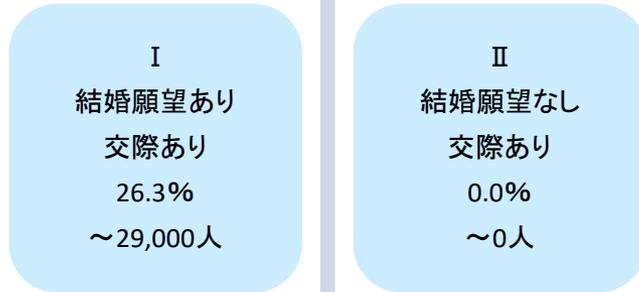
独身男女へのアンケート結果<まとめ>

結婚願望と交際状況によりセグメントした上で、
事業ターゲットはⅢ（結婚願望があり、かつ交際相手がいない層）に設定

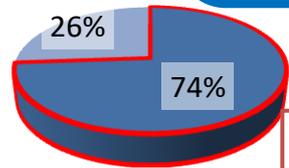
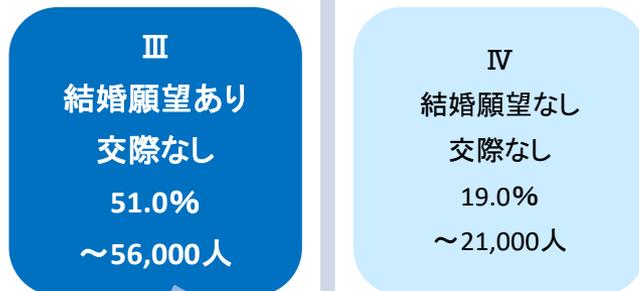
※人数は平成27年国勢調査からの推計人数

<25～39歳 男性>

交際あり



交際なし

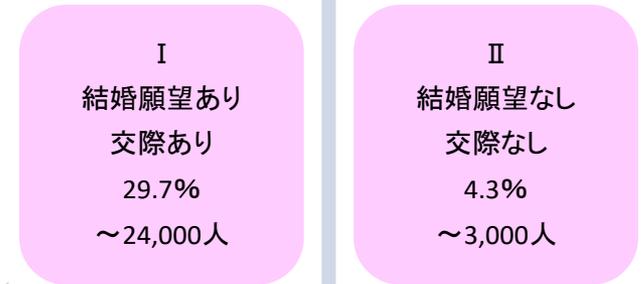


41,000人

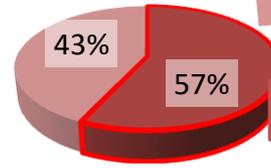
■特に活動をしていない

<25～39歳 女性>

交際あり



交際なし



21,000人

■特に活動をしていない